

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 154

事務事業名	骨髄移植ドナー支援事業
-------	-------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	福祉保健部		
課名	国保けんこう課		
課長名	松永 龍二	内線	115
担当者名	山田 操	内線	152

基本目標		健康でいきいきと暮らせるまち
政策	020103	健康づくりの推進と医療体制の充実
施策		医療体制の充実
関連施策		

会計	一般会計	
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	3	健康増進費
事業コード	021100	骨髄移植ドナー支援事業

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	①(公財)日本骨髄バンクの骨髄バンク事業において骨髄の移植を行った市民 ②骨髄バンクへの登録を考えている市民		
意図 対象をどのような状態にしたいか	①骨髄提供に係る検査・入院における経済的負担を軽減する。 ②(公財)日本骨髄バンクへのドナー登録者の増加を図る。 ※ドナーとは…骨髄または末梢血幹細胞を提供する人		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	骨髄や末梢血幹細胞を提供するための検査・入院に要した日数について、1日あたり2万円の助成を行う。 ※ただし、7日を上限とする。		
事業期間	平成 27 年度 ~ 平成 28 年度	実施方法	補助
根拠法令、要綱等	造血幹細胞移植推進法、大村市骨髄等移植ドナー支援助成金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 助成件数	計画値				2	
		実績値				0	
		達成度	%			0.0%	
活動指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				
成果指標	① 助成した金額	計画値				280	
		実績値				0	
		達成度	%			0.0%	
成果指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	0	0	0	285	281	281	281	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源				285	281	281	281	
② 人件費(千円)	0	0	71	364	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)			0.01	0.05	骨髄移植ドナー支援事業	骨髄移植ドナー支援事業	骨髄移植ドナー支援事業	
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	0	0	71	649				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	広報おおむらへの掲載、献血会場でのチラシの配布による周知を行った。
事業が抱える問題・課題等	骨髄移植についての市民の理解が少ない。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	ドナー登録の課題となっている「骨髄提供者の経済的負担」の軽減を図ることで ドナー登録者数の増加を促し、1件でも多くの骨髄等の移植の実現に貢献するものである。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	平成26年1月1日から「造血幹細胞移植推進法」が施行され、骨髄等の提供の推進に関する施策の策定・実施が地方公共団体の責務とされている。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	骨髄移植に関する普及啓発を図ることができ、ドナー登録への意識向上にもつながる。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	ドナー登録者数が増えることで、支え合いの社会の実現の一翼を担うことができる。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	骨髄移植のための検査、入院には1週間以上の日数が必要であり、上限を7日としていることから、削減の余地なし						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

<input checked="" type="checkbox"/> 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	
--	-------------------------------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	広報おおむら掲載や献血会場でのチラシ配布による骨髄移植に関する普及啓発を図っていく。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。